

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

秋田県 羽後町

自治体名：秋田県羽後町

担当課名：教育委員会学校教育・社会教育班

電話番号：0183-62-2111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	230.75km ²
人口	13,010 人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	306人
部活動数	15 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

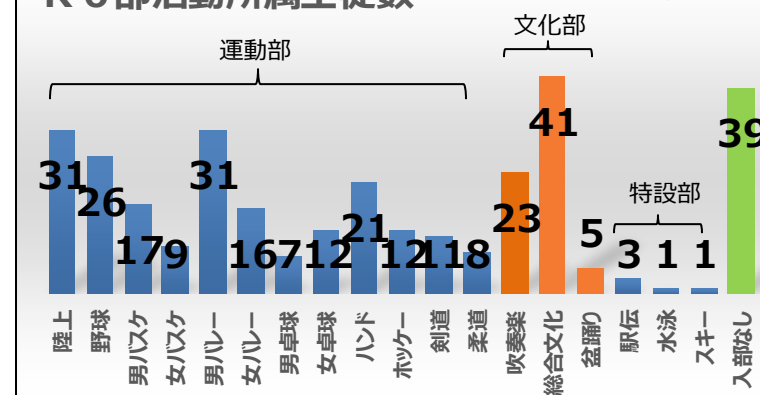
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

羽後町は令和3年度から部活動の地域移行に取り組を始め、この4年間で実施種目の拡大、指導者の確保を徐々に進めてきた。

羽後町唯一の中学校である羽後中学校では令和6年度から、部活動への加入を任意制とした。運動部加入率は前年度とほぼ同等となっているが、文化部への加入は減少した。学校の部活動に加入していない生徒の中には、近隣地区のスポーツクラブでの活動や習い事、趣味に時間を使いたいという生徒も多く、放課後の過ごし方は多様になってきている。

保護者の考え方も多様であり、地域連携・地域移行についてはアンケート等で率直な意見をいただいている。その中でも、「地域移行を行う必要があるのか疑問」という声は依然として多い。今後、生徒数の減少が続くため、羽後中学校単独で現在の部活動体制を維持することは難しい。子どもたちがやりたいことに取り組めるよう、地域のスポーツ環境を整備していくことの必要性やメリットを周知し、理解を得ながら地域移行を進めていく必要がある。

R 6部活動所属生徒数 (令和6年5月時点)



「羽後中学校 令和6年度部活動加入状況」より

羽後中学校生徒数

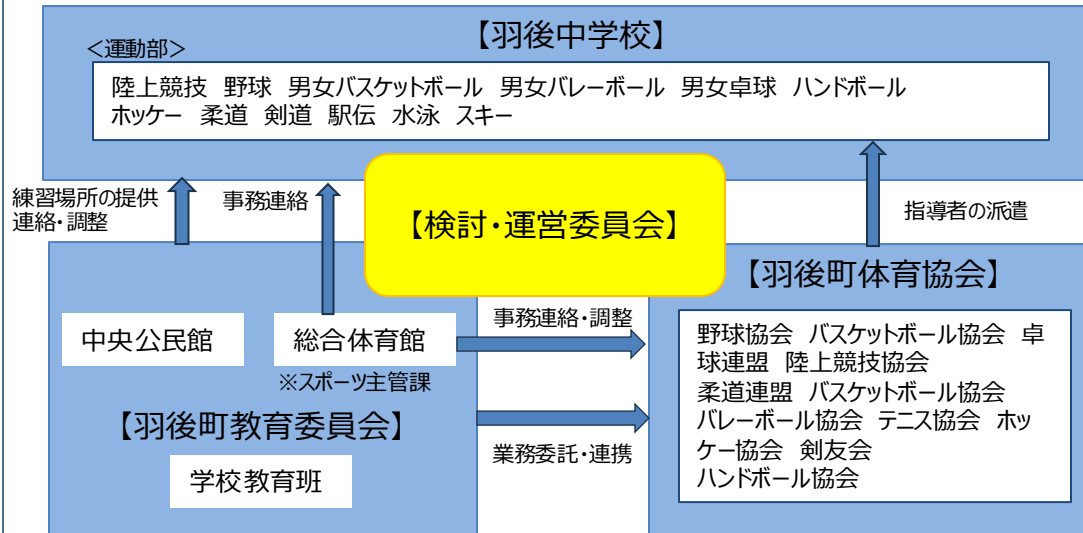
R4	331人
R5	315人
R6	306人
R7	270人
R8	270人
R9	257人
R10	243人

「羽後町 児童・生徒数調べ」より

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

羽後町はスポーツ主管課が総合体育館にあるため、教育委員会が主担当となり、体育館の担当と連携して、関係団体と連絡・調整しながら地域連携・地域移行を推進している。また、学校や総合体育館以外に練習会場として提供している施設については中央公民館が担当している。

- ・羽後町体育協会への業務委託
 - ・各団体、地域関係者への趣旨説明
 - ・検討・運営会議の実施
 - ・拠点校との連絡調整
 - ・練習場所の提供
- 学校教育・
社会教育班担当
- …中央公民館担当・総合体育館担当

年間の事業スケジュール

令和6年4月	学校と事務局打合せ 体育協会総会で概要説明
令和6年5月	各種目指導者へ内容説明
令和6年6月	中学校生徒アンケートの実施 第1回検討・運営会議
令和6年7月	地域部活動スタート
令和6年11月	第2回検討・運営会議
令和6年12月	参加者アンケートの実施 （生徒、保護者、地域指導者、 羽後中学校職員）
令和7年1月	小学校アンケートの実施 （5、6年児童、保護者）
令和7年2月	第3回検討・運営会議 各小学校学年末PTAで 概要説明

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	8 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8 クラブ（9 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	1 2 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
陸上競技	羽後町体育協会	陸上競技	月 4 回程度	土曜 9：00～ 12：00	1年 9名 2年 7名 3年 31名	7月 ～1月	羽後町陸上競技場	1 人	1 人 (内、兼務 1 人)	400 円 保険料の半額	中体連：部活動 その他：地域クラブ
野球	羽後町体育協会	軟式野球	月 3 回程度	土曜 9：00～ 12：00	1年 12名 2年 9名 3年 5名	7月 ～1月	羽後町野球場 三輪ドーム	1 人	1 人 (内、兼務 1 人)	400 円 保険料の半額	中体連：部活動
男子バレーボール	羽後町体育協会	バレーボール	実施なし (連携にとどまった)	土曜 9：00～ 12：00	1年 14名 2年 6名 3年 13名	7月 ～1月	羽後中学校体育館 旧元西小学校体育館	1 人	1 人 (内、兼務 1 人)	400 円 保険料の半額	中体連：部活動
女子バレーボール	羽後町体育協会	バレーボール	月3回程度	土曜 9：00～ 12：00	1年 5名 2年 4名	11月 ～1月	羽後中学校体育館 旧元西小学校体育館	1 人	1 人 (内、兼務 1 人)	400 円 保険料の半額	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
卓球	羽後町体育協会	卓球	月 2 回程度	土曜 9:00～ 12:00	1年 4名 2年 9名 3年 6名	7月 ～1月	羽後中学校体育館	1 人	1 人 （内、兼務 1 人）	400 円 保険料の半額	中体連：部活動
ハンドボール	羽後町体育協会	ハンドボール	月 3 回程度	土曜 9:00～ 12:00	1年 5名 2年 6名 3年 9名	7月 ～1月	羽後アリーナ 旧三輪中学校体育館	3 人	1 人 （内、兼務 1 人）	400 円 保険料の半額	中体連：部活動 その他：地域クラブ
ホッケー	羽後町体育協会	ホッケー	月 2 回程度	土曜 9:00～ 12:00	1年 2名 2年 3名 3年 7名	7月 ～1月	羽後町多目的広場 羽後中学校体育館	1 人	1 人 （内、兼務 1 人）	400 円 保険料の半額	その他：部活動、地域クラブ
柔道	羽後町体育協会	柔道	月4回程度	土曜 9:00～ 12:00	1年 2名 2年 1名 3年 5名	7月 ～1月	羽後中学校武道場	3 人	1 人 （内、兼務 1 人）	400 円 保険料の半額	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 羽後町テニス協会 スポーツ交流会（10月～3月） 会場：羽後町介護予防拠点施設（三輪ドーム）
- 羽後町バドミントン協会 バドミントン教室（1月～3月）会場：羽後アリーナ

※中学生が自由に参加できるよう整備したが、現時点では参加者なし

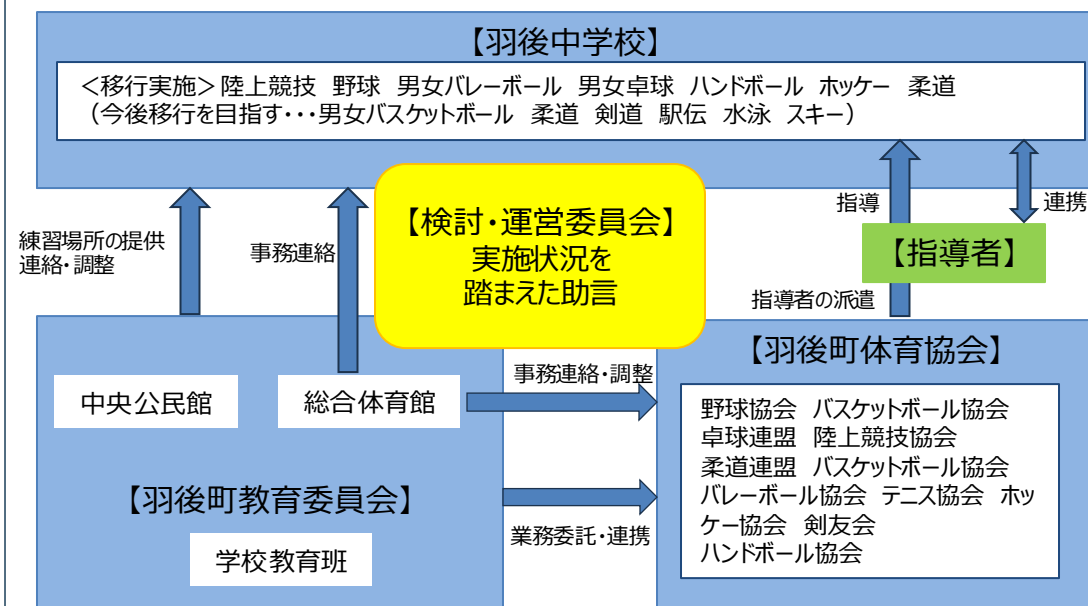
2.実証内容と成果

主な取組例

●羽後町地域部活動 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、野球、男子バレーボール、女子バレーボール、卓球、ハンドボール、ホッケー、柔道
運営団体名	羽後町体育協会
期間と日数	◇陸上競技、野球、卓球、ホッケー、ハンドボール、柔道、男子バレーボール 7月1日～1月31日 月3回程度 ◇女子バレーボール 11月1日～1月31日 月3回程度
指導者の主な属性	羽後町体育協会各単協会員
活動場所	羽後中学校及び町内の公共施設（廃校後の体育館を含む）
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	400円（保険料の半額負担）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

◇羽後町体育協会

- ・指導者の派遣、指導者の育成

◇羽後町体育協会事務局

- ・指導者、学校との連絡調整
- ・指導者への諸謝金の支払い、保険加入手続き等の遂行

◇指導者

- ・学校と連携し、平日の活動状況等を踏まえながら休日の活動において指導

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

羽後町体育協会を中心とした運営体制の構築及び人材の確保を行い、持続可能な組織体制の整備を行うため、検討・運営会議の充実を図った。

羽後町部活動地域移行検討・運営会議

＜第1回＞ 令和6年6月28日

- ・今年度の実施内容の確認
- ・生徒対象のアンケート調査結果の共有
- ・生徒のニーズに応じた取組についての意見交換

決定事項

- 生徒の意向を踏まえたスポーツ教室の実施について
- ・テニス教室の実施（10月～3月）
- ・バドミントン教室の実施（1月～3月）

＜第2回＞ 令和6年11月11日

- ・実施状況の確認
- ・県主催の各種会議内容の共有
- ・指導者の確保、若手指導者の育成に係る意見交換

決定事項

- 若手指導者の育成に向けた体育協会としての取組について
- ・全種目共通の内容で指導者研修会を実施（次年度）

＜第3回＞ 令和7年2月13日

- ・今年度の成果と課題の確認
- ・各種アンケート調査結果の共有
- ・令和7年度の実践内容の確認
- ・令和8年度以降の実施に向けた意見交換

決定事項

- 令和8年度以降の実施に向けて
- ・令和7年度中に財源の確保について検討すること
- ・指導者育成のための研修会の具体的な内容、時期

取組の成果

前年度までの検討・運営会議では、地域移行の困難さが話題の大部分を占めていたが、今年度は、それぞれの立場で地域移行に向けて何ができるか、持続可能な体制づくりのために何が必要かを協議することができた。部活動の地域移行のみにとどまらず、羽後町のスポーツ環境づくりという視点での意見も多く聞かれるようになった。

今後の課題と対応方針

羽後町体育協会を中心とした体制づくりは進んでいるが、検討・運営会議で協議した内容について、地域指導者を含む各単協会員にも理解していただく必要を感じている。現状や課題、今後の見通しも共有しながら、進めていくことができるよう、運営体制をより強化していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（イ）

各種目において新たな指導者を確保することができるよう、一定の期間に限定して依頼したり、新たな指導者については複数体制の中で試行する期間を設けたりする。

部活動指導員を活用し、平日・休日の一貫指導を実施する種目を設定する。

取組の成果（イ）、（ウ）

学校の担当者との連携期間を経て、短期間で実施したことは指導者の負担軽減となり、指導者の確保につながった。また、指導者としては登録していないが、協力者として活動に携わる方も増えており、今後の指導者確保につながると考える。

部活動指導員の活用による平日と休日の一貫指導については、生徒理解を深めることにつながり、指導の質の向上につながっている。

取組事項（ウ）

指導者の派遣や研修会の実施等について連携する。

種目名	指導者数	指導者属性	備考
陸上競技	1人	元教員	協力者2名
野球	1人	会社員	協力者1名
男子バレーボール	1人	公務員	
女子バレーボール	1人	会社員	
卓球	1人	会社員	協力者1名
ハンドボール	3人	会社員・公務員	協力者1名
ホッケー	1人	公務員	部活動指導員と兼務
柔道	3人	会社員・公務員	

今後の課題と対応方針

指導者は徐々に増加しているが、種目によって状況に差があり、地域移行を継続していくためには十分とはいえない。次年度は、中学生への指導の在り方について学ぶ機会として、各種目に共通する内容の指導者研修会を実施し、若手指導者の育成を含めた全ての指導者の資質の向上に

つなげたいと考えている。

また、現状では、体育協会会員ではない指導者もあり、連絡・調整や内容説明など、個別に対応している。協会に所属することにより、連絡・相談体制が強化され、指導の充実につながることを伝え、入会を促していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

各種目の実情に応じた期間を設定し、地域移行を実施する種目を前年度よりも増やす。

種目の拡大状況について（面的な拡大）

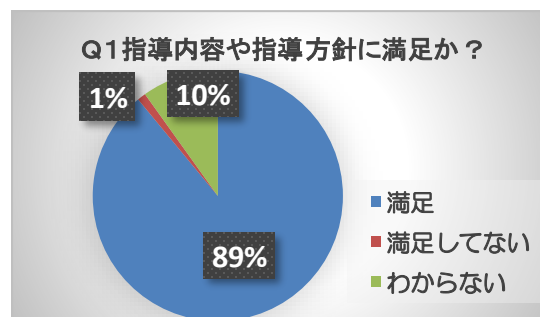
	R3	R4	R5	R6
通年	陸上競技 ハンドボール 柔道	陸上競技 ハンドボール 柔道	陸上競技 ハンドボール 柔道 ホッケー	陸上競技 ハンドボール 柔道 ホッケー 卓球 野球
短期			卓球 男子バレーボール	男子バレーボール 女子バレーボール

広域的な取組について

部員数の減少により、近隣の地域との共同実施を望む声もあるが、それぞれの地域により実情が異なるため、まだ実施には至っていない。また、広域的な取組となることにより、練習会場への移動等、生徒や保護者に係る負担が増えることが予想される。現状としては必要に応じて他地域や他世代の団体と合同練習を行い、活動の幅を広げることができている。今後、メリットとデメリットを明らかにしながら、近隣地域と合意形成を図りながら進めていく予定である。

取組の成果

連携期間を経て、短期間に限定したことにより、移行が実現した種目がある。連携期間中に、学校の部活動担当と情報交換を行い、生徒理解を深めることができたため、実態に応じた指導を実現することができ、生徒からの満足度も高いものとなった。



今後の課題と対応方針

連携期間を設定したものの、移行につながらなかった種目や連携体制がまだできていない種目もある。全ての種目の移行に向けて、期間設定や活動内容について、学校の担当者、地域の指導者、協力者と相談しながら、進めていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

生徒へのアンケート調査を実施し、生徒の意向を取り入れながらスポーツに親しむ機会の確保に取り組む。

生徒の意向

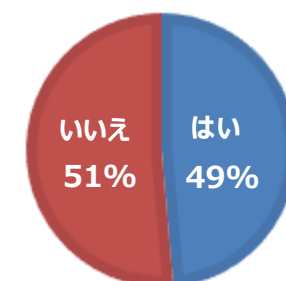
アンケート調査の結果から、部活動やスポーツ少年団に所属し各種大会に向けて活動している生徒の多くが、団体に所属して活動することに満足しており、仲間と共に活動することの楽しさや目標に向かって取り組むことの大切さを感じていることが分かった。しかし、一方で、「経験の有無を問わずやりたいスポーツに挑戦したい」という回答も多く見られ、様々なスポーツに挑戦したいと思っている生徒が多くいることも分かった。

中学生を対象としたアンケートの実施（令和6年6月）

主な質問項目

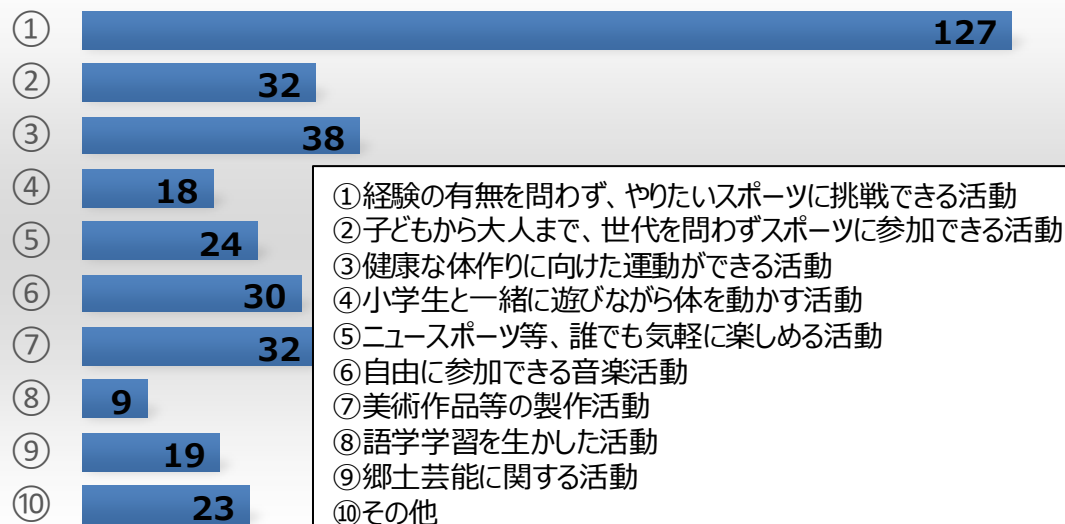
- ◇学校の部または学校以外の団体に入部・入団した理由
- ◇学校の部または学校以外の団体の活動に満足しているか
- ◇学校の部または学校以外の団体での活動の魅力
- ◇今取り組んでいる競技について、中学校卒業後も続けたいと思うか
- ◇**団体に所属していなくても参加したいときに参加できる活動があれば、参加したいか、参加するとすればどのような活動を望むか**

参加したいですか？



どのような活動を望むか？

※複数回答 単位（人）



やってみたい種目は？

陸上競技 野球 柔道
バスケットボール 卓球
バレーボール 剣道
ハンドボール ダンス
ホッケー スケボー
サッカー フットサル
テニス バドミントン
ニュースポーツ
初心者でもできる種目
スポーツ体験
疲れないスポーツ
協力するスポーツ

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

実施状況

羽後町では、例年、テニス協会とバドミントン協会が一般や親子向けにスポーツ教室を行っている。生徒アンケートでは、テニス、バドミントンをやってみたいという回答が複数あったため、この2種目のスポーツ教室の内容を見直し、中学生が自由に参加できる環境を整備した。学校報やチラシ等で周知したところ、興味を示した生徒はいたものの、今年度の利用者はいなかった。

<補足>

テニスについては、これまで大人向けに実施していたため休日も夜間に行っていたが、中学生が参加しやすいように、活動時間帯を午後に設定した。中学生の利用者はいなかったものの、参加しやすい時間帯になったことで、一般の参加者が増えている。

活動の詳細

参加人数	今年度の中学生参加者はなし	指導者数	各1名
属性	体験教室、交流会（テニス、バドミントン）		
具体的な内容	これまで一般向けまたは親子向けに実施していたスポーツ教室の実施体制や周知方法を見直し、中学生も気軽に参加できる環境を整備した。 <テニス> 10月～3月の第2、4日曜日 午後1～5時 <バドミントン> 1月～3月の日曜日 午前9時30分～12時		
関係者の声	<指導者の声> 住んでいる場所や環境が理由でスポーツができないというのは残念。受け皿を作るのは大切なことで、自分が指導者として役立てるなら続けていきたい。子どもたちを含め、多くの人に参加してもらいたい。		
運営経費	<参加者負担> ・テニス 実施期間中1人1,000円 ・バドミントン 1回100円	<体制整備> ・テニス…貸出用ラケット、練習用ボールを協会で購入。（スポーツクラブ補助費から） ・バドミントン…既存の備品で対応	

今後の課題と対応方針

既存の活動を中学生向けに再構築し、スポーツ教室を実施したが中学生の利用者はいなかった。あくまでも、自由に参加しスポーツに親しむ機会の確保を目的としているため、利用者がなかったことについて、課題とは捉えていない。しかし、本取組に対し、一部の保護者からは、「生徒数が減っているのに、種目を増やすことは、各

種目の部員の減少につながるのではないか」という声があり、「部活動で一つの種目に取り組むべき」という考えの根強さが見られた。子どもたちが、より自由にスポーツを楽しむ機会としてのスポーツ教室であることを周知していくことが必要と考えている。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度は、昨年度までの取組を更に充実させ、地域移行を拡大してきた。参加生徒数は昨年度の122名から158名に増えている。生徒対象のアンケート調査では約9割が地域指導者の指導に満足と回答しており、地域移行が生徒にとってメリットが大きいものであることが明らかになっている。地域のスポーツ環境整備という点については、中学生を対象とした取組が結果的に大人にとっても参加しやすいものとなり、地域の活性化につながっている様子も見られる。しかし、これまで継承してきた部活動文化は根強く、関係者や保護者からは地域移行に対する不安の声も依然として多い。地域移行についての趣旨や取組状況については、機会を捉えて周知を進めてきたが、保護者対象のアンケート調査では、地域移行についての情報が不足であるとの指摘を受けた。周知の場を繰り返し設定し、理解を得ながら進めていくことが必要である。子どもたちが自分のやりたいことを選択し、安心して活動できる環境の整備に向けて、多様な立場からの意見を踏まえながら、進めていくことの重要性を改めて感じた。

●成果の評価

前年度よりも種目数が増えたこと、また指導者が増えたことは今後の完全実施につながる成果である。実施種目の増加に伴い参加生徒数も増えているため、生徒の活動をととして、保護者や関係者にも地域移行についての理解が広がってきている。運営主体である体育協会の意識の向上も見られ、検討・運営会議では現時点の実践に係る協議にとどまらず、将来的な羽後町のスポーツ環境整備も踏まえた意見も出されている。年に3回実施した検討・運営会議では、現状と課題を明らかにし、協議により具体策を決定することができている。運営団体と教育委員会及び学校が合意形成を図りながら実践できる体制を構築できたことは、大きな成果である。また、中学校の部活動の地域移行をきっかけに、地域スポーツの活性化につながっていることも成果の一つと捉えている。

●今後に向けて

これまでの実践をととして、羽後町で実施可能な地域移行の形が徐々に見えてきている。改革推進機関最終年度となる令和7年度は、財源の確保や指導者の育成などについて、対策や方針をより具体化し、持続可能な体制づくりを進めていく予定である。しかし、中体連の大会参加規定、他市町村との連携等、町の方針だけでは収まらないことも多い。国や県の方針、中体連の情勢、他市町村の情勢等を踏まえながら、羽後町の地域展開について目指す方向を明確にしていきたいと考えている。

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●アンケート結果①「部活動及びスポーツ・文化活動に関するアンケート（令和6年6月実施）」

【羽後中学校生徒】

Q4-1 団体に所属していなくても参加したいときに参加できる活動があるとすれば、参加しますか

①はい	②いいえ
105	111

Q4-2 どのような活動を望みますか（複数回答可）

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| ①経験の有無を問わず、やりたいスポーツに挑戦できる活動 | ⑥自由に参加できる音楽活動 |
| ②子どもから大人まで、世代を問わずスポーツに参加できる活動 | ⑦美術作品等の製作活動 |
| ③健康な体作りに向けた運動ができる活動 | ⑧語学学習を生かした活動 |
| ④小学生と一緒に遊びながら体を動かす活動 | ⑩郷土芸能に関する活動 |
| ⑤ニュースポーツ等、誰でも気軽に楽しめる活動 | ⑪その他 |

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
127	32	38	18	24	30	32	9		19	23

Q4-3 Q4-2のような活動を行うとすれば、どんな種目（スポーツ）を望みますか（複数回答可）

陸上 5	走る 1	長距離走 1	軽いランニング 1
球技 11	野球 11	ソフトボール 1	ボールを投げる 1
バスケットボール16	バレーボール26	ママさんバレー1	卓球 8
サッカー 4	テニス 4	フットサル 1	ハンドボール 6
ドッジボール2	水泳 2	柔道 1	剣道 1
ニュースポーツ1	モルック 1	ボッチャ 1	ドッジビー 2
スケボー 2	スノーボード 2	eスポーツ 1	ダンス 3
鬼ごっこ 1			
団体競技 1	多項目 1	体験 1	楽しいもの 1
自分の興味がある種目 1		初心者でもできる簡単な種目 1	地域別の大会 1
あまり疲れないスポーツ 1		みんなで協力したり助け合ったりするスポーツ 1	

2.実証内容と成果②

アンケート結果

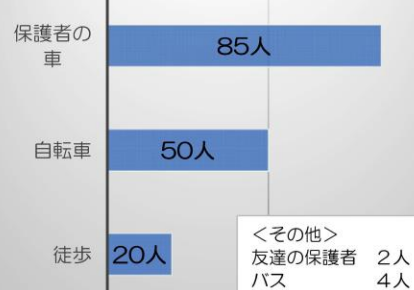
●アンケート結果②「令和6年度地域運動部活動推進事業 アンケート（令和6年12月実施）」

【参加生徒】

Q1 指導内容や指導方針に満足か？



Q2 練習会場までの移動手段は？



※総回答者数は91人（複数回答可とした）

Q1 指導方針や指導内容に満足しているか

- 指導が丁寧で分かりやすい。具体的なアドバイスをくれる。説得力がある。
- 自分に合った練習をすることができる。
- 練習が楽しい。
- 若いので、今の考え方を取り入れた指導をしてくれる。
- 指導者が増え、分かりやすく改善点を教えてくれる。
- どんなときでも部員のことを一番に考えてくれる。
- 部員の気持ちを踏まえた上で、チームの目標を達成するための指導をしてくれる。
- ▲少し不安がある。
- ▲あまり指導を受けることができていない。

Q3 学校以外の町の施設使用について

- ＜陸上＞…なし
- ＜野球＞…三輪ドーム
- ＜柔道＞…なし
- ＜ハンドボール＞…羽後アリーナ、旧三輪中学校体育館
- ＜ホッケー＞…多目的広場、三輪ドーム
- ＜卓球＞…羽後アリーナ
- ＜男子バレーボール＞…羽後アリーナ、旧三輪中学校体育館
- ＜女子バレーボール＞…羽後アリーナ、旧元西小体育館、旧三輪中学校体育館

Q4 他団体との合同練習について

- 友達もつくれるので楽しい。他の地域の人とも関われるのでとてもよい。
- 部員数が少ないため、普段できない練習ができて嬉しい。
- 互いに競い合ったり質問し合ったり技術向上のために取り組むことができてよかった。
- 他のチームから良いところを自分に取り入れることができて良いと思っている。
- 他のチームと練習することで、自分のレベルが分かる。
- 自分たちだけの練習では得られない高レベルの経験をすることができて、良い刺激になる。
- 大人の人との交流が増えるし、自分たちより強い相手と練習できるのがいいと思った。
- もう少し回数を増やしたい。
- 合同練習をやったことがないので、やってみたい。上手な人のやり方を見て参考にしたい。
- ▲人数が多くなるので、行わなくてよい。
- ▲あまり意味を感じない。
- ▲面倒くさいと思う。

【部活動の地域移行についての意見】（自由記述）

- ・どちらでもよい。
- ・移行、いいと思う。
- ・自分は部活動として活動したい。なるべく、先生に教えてもらいたい。
- ・指導者は経験者で教え方が上手な人がいい。分かりやすく、丁寧に教えてくれる人がいい。
- ・新しい技術、練習方法などを取り入れることで自分、チームの成長につながると思う。
- ・練習の質が上がるのであればいいことだと思う。
- ・全ての部員に平等に指導してくれたい。
- ・今まで通り意欲的に活動できるのであれば問題ない。
- ・今の顧問の先生とコーチがいればいい。
- ・先生方の負担が減るのはいいと思う。
- ・先生方の負担が減るのはいいが、地域指導者の負担が大きくなると思う。
- ・平日と休日で指導者が替わるのは不安。変化が不安。
- ・やるとしたら、今使っている道具をそのまま使いたい。
- ・練習場所への移動がたいへんになるのではないかな。
- ・あまりよく分かっていないので、具体的に説明してほしい。
- ・具体的に説明してほしい。
- ・総体や秋季大会には出ることができるのか？他のチームと、今までと同じように練習試合をすることはできるのか？

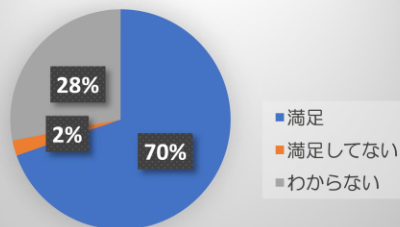
2.実証内容と成果②

アンケート結果

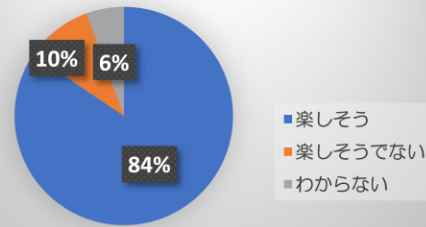
●アンケート結果③「令和6年度地域運動部活動推進事業 アンケート（令和6年12月実施）」

【参加生徒の保護者】

Q 1 指導内容や指導方針に満足か？



Q 2 楽しそうに参加しているか？



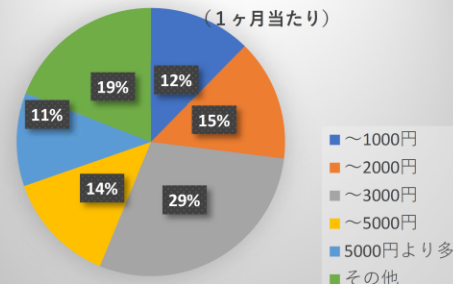
Q 1 指導内容に満足していますか

- 優しく丁寧に、熱心に指導してもらっている。分かりやすく専門的な指導が受けられる。
- 話しやすく、一人一人をよく見て指導してくれている。子どもは指導者を信頼している。
- 顧問の先生や保護者ともうまく連携がとれている。
- 地域指導者が来てくれる日は必ず練習に行きたいと子どもが話している。
- ▲不満はなさそうだが、満足もしていない様子が見られる。
- ▲理解できない言動があったことは残念に思う。
- ▲部員数が多く、生徒全員に手が届いていないようだ。
- ▲地域指導者が来てくれる回数に満足しているか分からない。
- ▲現状、移行しているとは言えない。子どももよく分かっていないと思う。

Q 3 年間に納めている部費

陸上	10000円
野球	36000円
柔道	40000円
ハンド	36000円
ホッケー	20000円～50000円
卓球	24000円
男子バレー	24000円
女子バレー	36000円

保護者として負担できる指導者への謝金
(1ヶ月当たり)



Q 4 保護者として負担できる地域指導者への謝金 (1ヶ月当たり)

	～1000円	～2000円	～3000円	～5000円	5000円より多	その他
全体	11	13	26	12	10	17

その他の内訳

- ・0円 (1) ・弁当代 (1) ・月額10,000円とし、部員数で割ればよい (1)
- ・未記入 (7) ・分からない (7)

※5,000円以上の中には、部全体での額として回答した方が複数

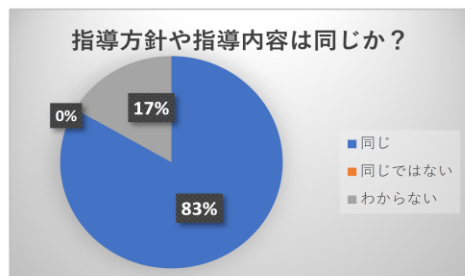
2.実証内容と成果②

アンケート結果

●アンケート結果④「令和6年度地域運動部活動推進事業 アンケート（令和6年12月実施）」

【地域指導者】

Q1部活動指導者の指導方針や指導内容は、同じですか



Q2どのように連携していますか？

- ・ 平日の練習にも参加し、学校の顧問と情報を共有している。
- ・ 電話、メール、LINEなどで情報交換をしている。
- ・ 報告、連絡、相談をお互いしていた。考えや指導内容を伝えていた。
- ・ 平日の練習参加。
- ・ 保護者へも方針の同意、理解を得た上で、協力体制を築いてきた。

Q3 課題と考えること（優先度の高いものを3つ）

指導者の確保 3名	財源の確保 1名	部員数の確保 4名
練習場所の確保 1名	練習時間の設定 1名	大会参加の規定 1名
学校との連携 2名	資格の取得 4名	自身の職場の理解 1名

Q4 他団体との合同練習について

- ・ 単体の練習に比べ、力量を測ることができると考えている。
- ・ 複数の指導者による指導の分業ができてよい。多角的な視点から指導ができてよい。
- ・ 地域移行している団体もあるので、話しを聞くことができる。
- ・ 積極的に行うことが大事だと思う。
- ・ 指導方法は異なる点があるが、教育的専門的指導は同じと思う。両校ともにより機会になって

Q5 他市町村のチームと合同チームを組む必要性を感じるか

- <ある>
- ・ 部員数の減少、指導者の負担減、指導資格を取得する際の負担減のため。
 - ・ 部員数が少ないため。
 - ・ 部員数が少なく、大会に参加できなくなることが増えてくるため。
- <どちらかといえばある>
- ・ 少子化対策としてどちらかといえば必要と考える。（羽後町は1町1中だから必要ないが、10年先を考えると…）
 - ・ いろいろな可能性が広がると思うから。
- <どちらかといえばない>
- ・ 部員数の確保ができていのであれば、必要性はないと考える。逆に他地区との切磋琢磨の関係は必要と考える。

【羽後中学校職員】

※Q1、2は部活動名や、地域指導者がいるかどうかの設問のため省略

Q3 一貫した指導のために、地域指導者との連携・協力体制をどのようにとっているか。

- ・ 部活動の考えを理解してもらっている。
- ・ 練習計画の共有、生徒に関する情報交換をこまめに行っている。
- ・ 事前の打合せ時間の確保
- ・ 基本的に自分が練習メニューを考え、ポジションごとに指導を分担した。
- ・ 学校の方針や生徒指導において機を付けたいことを共有した。
- ・ 練習メニューや大会までのスケジュール確認を確実に行った。
- ・ し合い等で一緒になったときに話しをしたり、ラインで連絡を取り合ったりして確認している。
- ・ 連絡を密にして、お互いの考えを話す機会を設けていた。
- ・ LINEグループの活用。大会後に次に向けての方針確認ミーティング。定期的に全員で指導する日を設ける。
- ・ 連絡を密にする。
- ・ グループLINEの活用。日々の練習での共通理解。

Q4 地域指導者への謝金はどれくらいが適当か

1時間当たり … 1000円（3名）、2000円（2名）、951円（1名）
 1回当たり … 2000円（1名）、3000円（2名）、4000円（1名）、5000円（1名）
 1人につき500円 30000円
 年間 … 30000円

Q5 町の施設使用に関する要望や意見

- ・ 気軽に練習に行くことができる施設や開放があれば助かる。
- ・ 公共の施設については特定の学校の特定の部活動のみが使用するのではなく、様々な団体が使いやすいように配慮してほしい。
- ・ 平日の羽後アリーナの割当がほしい。ハンドボールコートが確保できる体育館が町にない。
- ・ 冬期間の練習場所が限られるため、学校以外の施設が使用できるとありがたい。

Q6 他団体との合同練習について

- ・ スポ少と積極的に交流していくことが、中学入学時のスムーズな部活動加入へとつながっていくと思う。
- ・ 元々人数が少ないので、合同練習による交流はとてもよい経験になると思う。
- ・ 郡市内のチームとの練習は、相互にメリットがある。群市内の野球力向上にも貢献できる。
- ・ 互いの同意の上で、積極的に行っていくべきだと思う。
- ・ 刺激になってよい。情報交換ができてよい。
- ・ 積極的にいけスポーツ競技人口を増やすべき。
- ・ 部員だけではできない練習ができることや多くの人とのコミュニケーションが取れることがよいと思う。

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●アンケート結果⑤「部活動地域移行・地域連携に関するアンケート（令和7年1月実施）」

【町内4小学校 5、6年生】

Q1-1 中学校入学後、部活動に入部したいと思いますか？

	①はい	②いいえ	③わからない
5年生	45	4	19
6年生	66	3	14
計	111	7	33

②、③と回答した理由（複数回答可）	5年生	6年生	計
○学校の部活動以外にやりたいことがあるから	5	5	10
○放課後の時間をゆっくり過ごしたいから	13	5	18
○部活動がどんなものか、まだ分からないから	13	7	20
○中学校に入ってから考えようと思っているから	10	7	17
○その他	3	3	6

Q1-2 入部するとしたら何部を希望しますか？（複数回答可）

①陸上競技	②野球	③男子バスケットボール	④女子バスケットボール	⑤男子バレーボール
⑥女子バレーボール	⑦男子卓球	⑧女子卓球	⑨ハンドボール	⑩ホッケー
⑪剣道	⑫柔道	⑬駅伝	⑭水泳	⑮スキー
⑯吹奏楽	⑰総合文化	⑱盆踊り		

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
5年生	12	5	6	5	9	2	4	1	4	1	0	1	2	5	7	11	2	1
6年生	11	7	8	6	2	12	1	5	13	1	1	1	2	6	4	9	14	7
計	23	12	14	11	11	14	5	6	17	2	1	2	4	11	11	20	16	8

Q2 部活動が地域移行されると、学校の先生だけでなく、地域の方が指導者となる日がありますが、そのことについて心配なことはありますか？

	①ある	②ない	③わからない
5年生	7	48	13
6年生	3	6	20
計	10	54	33

①と回答した理由（複数回答可）	5年生	6年生	計
○学校の先生と地域の指導者として考え方が違うのではないかと	6	3	9
○自分のことを分かってもらえるか	5	0	5
○困ったことがあったときに相談できるか	3	0	3
○その他	1	0	1

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●アンケート結果⑥「部活動地域移行・地域連携に関するアンケート（令和7年1月実施）」 【町内4小学校 5、6年生保護者】

Q1-1 中学校入学後、部活動に入部したいと思いますか？

	①はい	②いいえ	③わからない	④その他
5年生	35	1	3	3
6年生	35	1	8	3
計	70	2	11	6

<その他>

- ・本人の意思を尊重 5名
- ・クラブチームにするか迷っている 1名

Q2-1 部活動に限らず、お子さんに取り組んでほしいスポーツはありますか？（体験活動や交流会を含む）

	①ある	②ない	③わからない
5年生	30	3	9
6年生	24	10	13
計	54	13	22

Q2-2 それはどんなスポーツですか？（複数回答可）

①陸上競技	②野球	③バスケットボール	④バレーボール	⑤卓球
⑥ハンドボール	⑦サッカー	⑧剣道	⑨柔道	⑩駅伝
⑪水泳	⑫スキー	⑬テニス	⑭バドミントン	⑮サッカー
⑯ニュースポーツ	⑰その他			

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
5年生	10	4	8	12	1	3	1	1	0	3	5	7	1	7	2	1	2
6年生	6	2	7	7	1	6	1	1	0	2	4	7	0	3	3	2	0
計	16	6	15	19	2	9	2	2	0	5	9	14	1	10	5	3	2

<その他>空手1名、何でも経験してほしい1名

Q3-1 部活動に限らず、お子さんに取り組んでほしい文化・芸術活動はありますか？（体験活動や交流会を含む）

	①ある	②ない	③わからない
5年生	25	5	12
6年生	25	11	11
計	50	16	23

Q3-2 それはどんな文化・芸術活動ですか？（複数回答可）

①吹奏楽	②合唱	③美術（絵画・工作など）	④家庭（手芸・料理など）
⑤郷土芸能（盆踊り・番楽など）	⑥語学（英会話など）	⑦その他	

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
5年生	9	3	6	9	14	10	3
6年生	8	6	6	5	16	13	0
計	17	9	12	14	30	23	3

<その他>ダンス1名、ピアノ1名、書道1名

Q4 指導者への謝金を保護者が負担するとすれば、1ヶ月当たりどれくらい負担できますか？

①1000円程度	②2000円程度	③3000円程度	④4000円程度
⑤5000円程度	⑥その他		

	①	②	③	④	⑤	⑥
5年生	11	13	12	0	1	5
6年生	15	16	11	0	2	3
計	26	29	23	0	3	8

<その他>

- ・指導内容次第 3名
- ・部員数、内容等に応じて 2名
- ・謝金はいらない 1名
- ・年間額を決める 1名
- ・そもそも謝金がいらない 1名

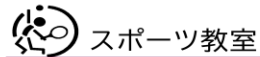
Q5 部活動の地域移行・地域連携について、ご意見があればお聞かせください。

※いただいたご意見の要点をまとめたものです。それぞれ、複数名からのご意見がありました。

- ・いじめ等のトラブルへの対応を明確にしてほしい。
- ・学校もある程度介入してほしい。（生徒指導面が心配）
- ・あいさつや礼儀なども指導してほしい。
- ・指導者が見つかるのか。どのくらい協力してもらえるのか。
- ・先生方の負担は減っても、地域指導者の負担が増えるのではないか。
- ・指導者選びが重要と思う。人間性のきちんとした方に地域指導者となってほしい。
- ・地域指導者の勤め先の理解も必要と思う。地域指導者が参加しやすい環境づくりが必要ではないか。
- ・地域指導者と学校の先生で指導方針が違つと子どもが混乱するのではないか。
- ・移行した後も、平日の活動場所は中学校内でないと継続が難しいと思う。
- ・保護者が介入すると平等性が心配。第三者が運営する形を望む。
- ・保護者の負担が増えるのは困る。
- ・クラブチームになると、敷居が高く、スポーツをする子どもが減るのではないか。
- ・羽後中の部活にはない。バドミントンができる環境があれば地元の高校へ進む子どももいるのではないか。
- ・情報が少ない。種目ごとの実施体制や保護者負担費用の見通し等の説明をしてほしい。

2.実証内容と成果③

広報資料



硬式テニス やってみませんか？

【対象】

中学生～成人（親子同伴も可）

【受講料】

1,000円（全12回）

※他に、施設使用料が1回100円がかかります。

【開催時期、時間】

令和6年10月13日～令和7年3月23日

毎月2回（第2、第4日曜日）午後1時～5時

【会場】

羽後町介護予防拠点施設

（むかしがたり館室内コート）

- ラケットは貸し出し可能です。
- 動きやすい服装、シューズで参加してください。
- 施設内に自動販売機等はありませんので、飲み物を持参してください。
- 途中からの参加も可能です。

○参加を希望する場合は・・・

羽後アリーナまたは中学校の先生から申込書をお願い、必要事項を記入し、参加当日に会場まで持参してください。

【問い合わせ】

羽後アリーナ

（0183-62-1323）

興味がある方は、
体験・見学から
（体験・見学は無料です）

【スポーツ教室（テニス） 中学生向けチラシ】



バドミントンの技能とルールをマスターできるように、羽後町バドミントン協会会員が指導します。

【対象】

小中学生、一般

ルールを守って、
バドミントンを
楽しもう！

【参加費】1人1回100円（シャトル代）

【開催日、時間】

令和7年 1月12日（日）・19日（日）・26日（日）

2月 9日（日）・16日（日）

3月 2日（日）・ 9日（日）

※1月12日のみ13時30分～16時、

その他の日は9時30分から12時です。

※3月9日は希望者による全町大会を実施します。

【会場】羽後アリーナ

- ・ラケットは持参してください。
- ・動きやすい服装、シューズで参加してください。
（スリッパ、裸足、靴下での練習はできません。）
- ・練習中の事故等については、自己責任での対処をお願いします。

○参加を希望する場合は・・・

羽後アリーナまたは中学校の先生から申込書をお願い、必要事項を記入し、参加費を添えて参加当日に会場まで持参してください。

<問い合わせ> 羽後アリーナ（0183-62-1323）

【バドミントン教室 中学生向けチラシ】

広報資料

令和6年度 羽後町部活動地域移行・地域連携の取組について

国の方針

- ◇地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、**多様な体験機会を確保。**
- ◇少子化の中でも、将来にわたり我が国の子どもたちが**スポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。**
学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ◇**自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。**部活動の意識の継承・発展、新しい価値の創出。

※国は令和5～7年度を「改革推進期間」とし、地域の実態に応じた地域移行への体制を整備することを各自治体に求めている。

羽後町の取組

令和7年度末までにすべての部活動で
休日の地域移行・地域連携を目指します

羽後町では令和3年度から、国の推進事業により、部活動の地域移行を進めてきた。令和6年度は、指導者への謝金（1時間1,000円）、保険料（800円）の半額、その他、会議費等を国の事業費で負担し運営している。（保険料の残り半額は保護者が負担。）

【令和6年度 主な取組】

- ①持続可能な組織体制の整備
- ②関係団体との連携の充実（指導者の派遣等）
- ③新たな指導者の確保
- ④平日・休日の一貫指導の実現
- ⑤地域移行実施種目の拡大
- ⑥生徒がスポーツに親しむ機会の確保



【実施種目】

＜地域移行＞

陸上 柔道 ハンドボール ホッケー 卓球 野球 女子バレーボール

＜地域連携＞

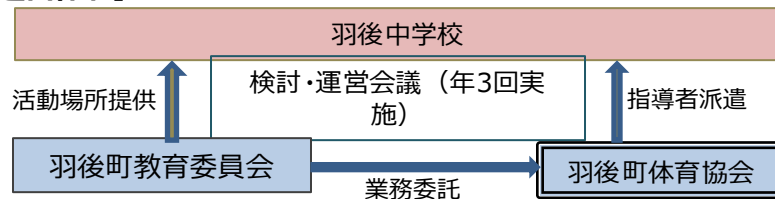
男子バレーボール 男子バスケットボール 吹奏楽 盆踊りクラブ

＜スポーツ環境の提供＞

テニス バドミントン

※既存のスポーツ教室に希望する中学生が参加できる環境を整備

【運営体制】



【アンケートの実施による状況把握】

- 羽後中学校全校生徒対象（6月）
- 地域移行実施種目の部に所属する生徒及びその保護者
実施種目の指導者、羽後中学校職員対象（12月）
- 町内小学校5年生、6年生及びその保護者対象（1月）



【羽後町の取組状況説明資料】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ホッケー 平日は部活動指導員として指導】



【陸上競技 生徒との対話を大切にする指導者】



【柔道 「遊び」を取り入れた練習メニューで仲間づくり・体力づくり】



【柔道 近隣の地域クラブと合同練習】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年

検討・運営委員会設置、検討開始
受け皿団体や指導者の選定
学校現場との調整
生徒、保護者への説明

一部種目で
活動開始

令和4年

運営体制の見直し
受け皿団体の変更

令和5年

地域移行・地域連
携の拡大

令和6年

地域移行・地域連携の
拡大及び定着

●ステークホルダー

羽後中学校、部活動保護者会
羽後町体育協会、各競技団体
羽後町教育委員会（学校教育班、総合体育館、中央公民館）

●経過

令和3年に検討・運営委員会を設置し、休日の部活動の地域移行について協議を開始した。運営主体を羽後町スポーツ協会に依頼し、以前から地域の外部指導者が関わっていた3種目で活動を実施を検討した。教育委員会から羽後中学校、部活動保護者会へ趣旨を説明した後、活動を開始した。

令和4年度には実施種目拡大に向けた運営体制整備のために、運営主体を体育協会に変更し、指導者は体育協会からの派遣を基本とした。

令和5年度には、検討・運営委員設置要綱を策定し、体育協会の各単協代表者が委員となり、部活動の地域移行にとどまらず、地域のスポーツ環境整備を考える場とした。また、地域部活動指導者要綱を策定し、指導者の役割、謝金・旅費等の基準を明確にした。

令和3年度の3種目から徐々に拡大し、令和6年度は8種目実施した。

●実施にあたって生じた課題

- ①全部活動の移行を目指しているが、各部の状況、各競技団体の状況が異なる。また、指導者の負担が大きい。
- ②地域移行の趣旨や羽後町の取組状況について、十分な周知ができていないため、関係者の不安が大きい。
- ③部活動を含むスポーツ環境の在り方について明確な見通しがもてていない。

●実施内容、工夫した点 等

- ①各種目の状況に応じ、まずは学校と連携する期間を設定することにより、試行期間を保障した。また、通年で実施する種目、短期間に限定して実施する種目を設定し、状況に応じた段階的な移行を進めた。
- ②取組を開始した令和3年度から、学校関係者や体育協会関係者、スポーツ少年団関係者等に対する説明会や、町の広報を活用し、趣旨や取組状況の周知を図ってきた。しかし、アンケート調査等で情報提供不足であるという声が多かったため、周知の機会を増やした。令和6年度は、小学校の保護者向けの説明も実施した。
- ③学習指導要領における部活動の位置付け、中体連の動向を踏まえながら、検討している。次年度中に、ガイドラインを策定する予定である。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和5年度

令和6年度

令和7年度

羽後町教育委員会

検討・運営会議の実施 関係者への周知

他地域との連携に係る協議

研修会の実施

指針・ガイドラインの策定

羽後町体育協会

地域部活動の運営 指導者の派遣

部活動以外のスポーツ環境の整備 指導者の育成

【学校部活動】

＜運動部＞ ※特設部を除く

地域移行…陸上競技・ハンドボール・ホッケー・柔道・卓球

地域移行…野球・女子バレーボール・男子バレーボール

地域連携

移行…男女バスケットボール・剣道

＜文化部＞ ※総合文化部は休日の活動なし

地域連携…吹奏楽・盆踊り

すべての部活動の地域展開

【部活動以外のスポーツ環境の整備】

スポーツ体験教室（テニス・バドミントン）の実施